

まちのわだい



新たな地域おこし協力隊員

綿貫亜希さん

2月1日、綿貫亜希さん（千葉県出身・フランスから移住）が新たな地域おこし協力隊員として着任しました。

綿貫さんは東京で服飾を学んだ後、フィンランドやフランスへ留学。テキスタイルデザイン（服飾やインテリアにおける織物のデザイン）を身につけ、そのままフランスで活動していました。昨年8月に「お試し居住制度」で初めて広川町を訪れ、久留米絣工房や八女すだれ工場を見学したことをきっかけに、移住を決意したそうです。

今後は久泉区のKitchenで、織物や農産物などの特産品を世界へPRしたり、自身のブランドを立ち上げたりする予定です。

子どものスポーツ応援

広川町体育協会 奨励金交付



1月27日(月)、広川中学校と町内の少年スポーツチームへ、広川町体育協会から「スポーツ振興チャリティー基金奨励金」が贈られました。この奨励金は「スポーツ振興チャリティーゴルフ大会」で集められた基金から交付されるもの。昨年度までは九州大会以上の出場者へ贈られていましたが、今年度はスポーツを頑張る町内の児童・生徒へ贈られています。

広川中の古川校長は「生徒の部活動など、町のスポーツ振興に寄与できるように大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。

良質なあまおう贈呈

JA いちご部会贈呈



12月27日(金)、JAいちご部会広川地区から渡邊町長へ、イチゴ「あまおう」が手渡されました。広川町は福岡県内でも有数のあまおうの産地。「昨年より大玉で良質」「広川産は品質が良く、市場で高く評価されている」と今年の出来が報告されました。

昨シーズンを報告

ホークス選手が来町



1月23日(木)、福岡ソフトバンクホークスの杉山一樹投手、野村大樹内野手、水谷瞬外野手が、飯田副町長へサイン入りユニフォームを手渡ししました。筑後七国と福岡ソフトバンクホークスは、平成26年に地域連携協定を締結。3選手を含むホークス新入団選手は、「筑後七国ホークス応援大使」として地域の活性化に努めています。3選手は副町長へ昨シーズンについて報告し、今年の意気込みを語りました。

技術が身につくシャツ作り ひろかわまちじょ Project

昨年9月～1月、ZOOMでひろかわまちじょプロジェクトのシャツ作り講座（全4回）が行われました。ひろかわまちじょとは、ものづくりなどの「好き」を活かして、女性の明るい未来を応援するプロジェクト。今回の講座は初心者も参加できるということで、定員8人に対して4倍近くもの応募がありました。参加者はミシンの基本やコツ、プ口的縫製法など、洋服作りに必要なスキルを学習。「初めは難しかったけど、仕上げたときはやりがいを感じた。今後も洋服づくりに挑戦したい」という声が聞かれました。本講座の成果は、3月7日・8日の「ひろかわ莓まつり」のブースで報告される予定です。



応援の連鎖でまちを変える 協働のまちづくり研修

1月26日(日)、町民交流センター「いこつと」で、人が集まる仕掛けについて考える講座が行われました。前半では、町内の4団体（姫野病院、(株)鹿田産業、商工会青年部と女性部）が取り組む社会貢献事例を発表。後半は、油津商店街（宮崎県日南市）を4年で再生させた木藤亮太さん（(株)ホーホウ代表取締役・(株)油津応援団専務取締役）から、まちづくりに必要な視点を学びました。参加者から「油津商店街での活動で大切にしたこと」を問われた木藤さんは「自分がやるべきことを考えて活動した。私が覚悟を決めてやっていることを応援してくれる人がいるから進められた」と語りました。

支え合いで地域づくり 広川町福祉フォーラム

2月9日(日)、広川町保健・福祉センター「はなやぎの里」で福祉フォーラムが開催されました。前半は、福岡県介護福祉士会会長の因利恵さんが「自分らしく生きるための地域づくり」について講演。「人口減少、少子高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには『地域の力』が必要です」と住民の支え合いの重要性を語りました。後半は、川瀬北区が買い物支援、緑ヶ丘区が見守り活動について発表。各事例を聞いた参加者からは「一つの活動が『支え合い』の地域づくりにつながることが分かった」といった声が聞かれました。



広川町に元気届ける 九州プロレス

NPO法人「九州プロレス」が2月16日(日)、広川中学校でプロレス大会「広川町ば元気にするバイ！」を開催しました。

広川町での試合は今年で3回目。めんたい☆キッドや桜島なおき、玄海ら選手8人が出場し、激しいぶつかり合いや場外乱闘など、迫力ある3試合が行われました。今年もリングに登場した広川まち子ちゃん(?)は、顔に包帯が巻かれた松山みゆきと激突。その姿や動きに怖がりながらも、見事勝利を収めました。

試合前には、子どもたちを対象としたプロレス教室も開催。多くの子どもたちがリングに上がり、スクワットなどを体験しました。



下広スターボーイズ



広川少年野球クラブ 駅伝メンバー

下広スターボーイズ 駅伝の部初優勝 マラソン・駅伝大会

駅伝の部	優勝	下広スターボーイズ (緒方大叶・生田龍之介・大塚虎太郎・山下瑛慎・隈空良・橋本大空)
	準優勝	広川少年野球クラブ (中島憲信・末廣雄斗・甲斐田涼介・荒木惺乃介・岩田虎太郎・服部泰河)
マラソン3年生以下の部	準優勝	石崎快 (下広スターボーイズ)
	3位	山下維大 (下広スターボーイズ)
マラソン4・5年生の部	優勝	丸山航汰 (広川少年野球クラブ)
	3位	瀬音裕司 (下広スターボーイズ)
マラソン6年生の部	優勝	末廣大我 (広川イーグルス)
	7位	野中逸平 (広川イーグルス)
	10位	吉原壮輪 (広川イーグルス)

東八女地区少年野球協会主催の「第33回マラソン・駅伝大会」(2月2日(日)・グリーンピア八女) 駅伝の部で、下広スターボーイズが初優勝しました。マラソンの部でも、町内の少年野球チーム所属選手が多数入賞するなど、好成績を収めました。

物流の工夫を体験

親子で工場見学会



1月18日(土)、小学生とその保護者8人が、(株)九州CGC九州JDセンターの工場内部を見学しました。

(株)九州CGC九州JDセンターは、オリジナルブランド商品などをスーパーへ届ける物流センター。子どもたちは職員の方から業務内容を聞いた後、実際に行われている仕分けを体験。豆腐などの食品を受け取って指定の場所へ運びました。

野球の楽しさ伝える

広川イーグルス



上広川小学校で1月19日(日)、広川イーグルスが野球体験会を開きました。当日は多くの小学生が参加し、部員とともに体操やランニング、キャッチボール、バッティングを体験。「野球って楽しい」などの感想が聞かれました。

●部員募集中! (火)金(土)に、広川球場バックネット側で練習しています。お気軽にお越しください。

関係者代表 永田 090・3414・5322